

健康経営における取り組み概要_2023 年度

1 健康経営の目的

私たちカインズは、お客様にホームセンター事業を運営しており、地域のみなさまに「くらしに、ららら。」を届ける仕事をしています。「くらしに、ららら。」を届け続けるためにはまず、メンバー(従業員)自身が健康である必要があります。

私たちの指す「健康」は「出勤している」「病気でない」ではありません。「ウェルビーイングな状態（身体的・精神的・社会的に良好な状態）」とし、メンバー参加型で実感を伴う健康経営を目指して進めてまいります。

2 健康経営で解決したい課題と期待する効果

■課題

カインズは創業以来、「商業を通して社会の発展に貢献する」ことを志にそれぞれの地域の皆様のくらしに寄り添いながら事業活動を行っています。働く従業員もそれぞれの地域で採用しており、従業員のエンゲージメント向上はカインズの企業価値向上のために必要不可欠であり、健康経営を通じてこれを推進していきます。

■期待する効果

最終目的はカインズのプロミス「くらしに、ららら。」の実現である。そのために必要な人と組織の状態把握の指標として eNPS を用いた従業員エンゲージメントを用いている。2030 年の目標を-30pt と設定し、健康経営を通じてスコアの改善を目指しています。

3 健康経営全体の具体的な数値目標と現在の数値

● 定期健康診断受診率

年度	2022 年度	2023 年度
回答率	96.4%	100.0%

● ストレスチェック受験率：

年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	目標値
回答率	92.7%	93.0%	93.3%	90.4%	95%

4 健康経営の推進体制

①概要

カインズの健康経営は CHRO(最高人事責任者)を健康経営の推進の最高責任者とし、人事本部と本部の専属産業医、保健師、各店舗の嘱託産業医、健康保険組合が連携し企業横断的に取り組んでいます。

本部：健康経営推進担当者 2 名、専属産業医 1 名、保健師 2 名（2023 年 4 月時点）

②健保組合との連携

健康保険組合(ベシアグループ健康保険組合)とは施策の効果的な実施方法を協議するなど、定期的に組合の会合に参加し、情報共有、コミュニケーションを実施しています。

③メンバー(従業員)との情報共有や協議

安全衛生委員会等の機会を通じて定期的にメンバーへの情報共有、安全衛生に関する課題共有、改善策の検討を実施しています。

以上